

3年生(平成31年3月卒業予定)

進路決定者の声&中学生のみなさんへ

ここでは、就職・進学それぞれの代表として、4名の生徒の声を掲載します。

Aさん(女子、バドミントン部、沢内中出身) ファインリゾート株式会社 BRAND NEW KITAKAMI

受験に向けて私は、学習・面接練習に努めました。一般常識を繰り返し学習しました。面接練習では、たくさんの先生方に支援していただき、自分に足りない知識を身に付けることができました。受験当日、不安や緊張もありましたが、自分を出し切ることができました。無事、内定が決まったときは、とてもうれしく、気持ちが舞い上がり、自然と笑顔になっていました。残された高校生活でも、笑顔を絶やさず、学習にもしっかり取り組み、先生方へ感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいです。

中学生のみなさんへ。西和賀高校は、小規模校ならではの一人ひとりに合った授業を受けることができ、進学・就職に関わらず、将来に向け、手厚くサポートしてくれる学校です。

Bさん(男子、バドミントン部、沢内中出身) 自衛隊一般曹候補生

一般曹候補生の試験は、1次試験が国語・数学・英語・作文、2次試験が面接でした。国数英の対策は、夏休みの間に、分からないところを友人に聞いたりして自力で理解を深めました。作文では、担当の先生が自衛隊に関する基礎的な知識を教えて下さったおかげで、難しい題でも対応できるようになりました。1次試験本番は、練習通り時間に余裕を持って解答できました。後日、合格が分かりほっとしました。2次試験の面接では、事前に担当自衛官の方から指導していただいたおかげで、本番でも冷静に対応できました。そして、無事合格することができました。

西和賀高校は、団結力の強い学校だと思います。周囲の友人も先生方も優しく、進路達成に協力してくれます。中学生のみなさん、ぜひ西和賀高校に来て下さい。

Cさん(男子、硬式野球部、北上中出身) 岩手県立二戸高等技術専門校

私が受験した高技専での受験内容は、数学Ⅰ、国語、面接の三つです。中でも、面接練習は苦労しました。自分は、もともと早口で、滑舌も悪いという課題もあったため、会話には自信がありませんでした。練習には先生方だけでなく、周囲の友人も協力してくれました。そのおかげで多様な質問にも対応できるようになり、落ち着いて話せるようになりました。試験当日、最初は学科試験からでした。数学と国語ともに反復練習の成果も出て、ほとんどミスなく解答できたと思います。面接試験にも平常心で臨むことができました。合格が分かったときは、ともに受験した友人と抱き合っ

て喜びました。

私は、北上中学校出身で、入学当初は知り合いがほとんどいありませんでしたが、体育祭などの行事を通してすぐに打ち解け合うことができました。中学生のみなさん、ぜひ来て下さい。

Dさん(女子、ボート部、湯田中出身)岩手大学教育学部理数教育コース理科サブコース

私が苦労したことは、出願の1ヶ月前に志望学部を変更したことです。関連ニュースを調べたり、入試方法も元々志望していた学部と異なったため、準備が大変でした。入試方法が小論文だったため、授業の課題と小論文練習の両立が大変でした。小論文と面接の練習は誰よりも回数をこなしました。そのおかげで自信を持つことができ、受験本番でも落ち着いて取り組みました。途中、不安に駆られましたが、前日に先生方や友人がかけてくれた言葉を思い出し、緊張せずに挑めました。合格発表までの1週間はとにかく不安でした。合格発表の日、先生のパソコンで合否を確認しました。自分の受験番号を見つけた時、言葉に表せないくらいの喜びと合格した安心感のためか、涙があふれてきました。努力が報われて本当に良かったと思いました。

最後に、西和賀高校では、先生方一人ひとりが手厚くサポートをさせていただきます。また、小論文に向けてもたくさんの講座があります。中学生のみなさん、ぜひ西和賀高校で夢を実現させましょう。